

私のすすめるこの1冊

原田 信一（産業技術科学科 准教授）

『宮大工棟梁・西岡常一「口伝」の重み』

西岡 常一著

技術・家庭科技術分野（以下、技術科）では、ものづくりなどの実践的・体験的な活動を通して学習が行われている。技術科の授業において、体験的活動を通して製作品を完成させることが主たる目的という単なるものづくりに終わらず、ものづくりを通して生徒の技能を育てるとともに、生徒の感性を育て、技術的素養をもった人格を形成することを目的としている。そして、そのことが結果として、個々の生徒の「生きる力」の育成につながり、さらには生徒の人間形成にまで学習の効果が期待できると考えられている。

「ものづくりは人づくり」と言われるが、若い大工に技術指導をしながら、人づくりを実践した人がいる。世界文化遺産の法隆寺の修理や、白鳳文化を伝える薬師寺の復興を通して、全国から集まった若い大工たちへ技と心を伝えた“最後の宮大工”といわれる西岡常一である。

これまで西岡棟梁については、薬師寺金堂再建に関して「プロジェクト X」（日本放送協会）で取り上げられたり、若手に仕事のあり方を伝えようとした棟梁としての姿を捉えたドキュメンタリー映画「鬼に訊け 宮大工 西岡常一の遺言」で紹介されたりしている。

では、西岡棟梁は、どのようにして若い大工たちを育てたのか……。そこには、法隆寺の棟梁に代々、受け継がれてきた「口伝」があった。当時、若手であった直弟子の一人に、西岡棟梁の言葉で特に心に残っていることを尋ねると、分からないときには「自分で考えること」が大事であることを教えられたという。これは、人に聞いたならその

場はできるが、じきに忘れてしまう。でも自分で考えたことは忘れないということを示唆している。

西岡棟梁は、若い大工の指導においては、積極的に教えるわけではなく、ほっておいたわけでもない。ただ、本人が「カンナが削りたくてしょうがない」という気持ちになったときに削らせてこそ、技は上達する。西岡棟梁は、ただ突き放すだけではなく、「なぜ、こうなるのだろう」と弟子が分かりたいという気持ちになるよう雰囲気や環境づくりを大切にしていた。宮大工に伝わる「人を育てる」知恵としてのキーワードは、「教えない」「待つ」「考えさせる」であるという。

西岡棟梁は、日本古来の伝統技術の復活を目指し、宮大工の経験がない若者たちに、一つ一つ役割を与え、金堂再建の最後の難関とされる大屋根の建造で最も重要な「隅木^{すみき}」の製作を、若い大工の中で最も不器用だった一人に任せている。人を育てるのは即席ではできないということであり、醸成させていく教育、人材育成のプロセスの重要性が求められる。若い大工の、ただ技術を指導するだけでなく、人をつくりながら育てていったことが尊い。また、修学旅行で法隆寺を見て感激し、西岡棟梁の唯一の内弟子となった小川三夫が、弟子の立場からまとめた『棟梁 技を伝え、人を育てる』（文春文庫、2011年、ISBN978-4-16-780120-5）には、西岡棟梁から引き継がれた技や精神、弟子の育成について語られている。

私は、技術科の教員を育てることにさらなる勇気が湧いてきた。

図書館が新しくなりました！【最終回】～研究個室・個人学習室 編～

ラーニングcommonsなどグループ討議ができる場所もできましたが、やはり静かで集中できる学習環境も図書館には必要です。広い図書館の中でエリアを分けて、必要に応じて場所を選べるようになりました。

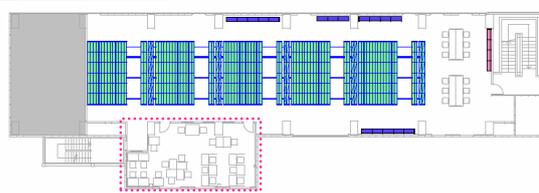


〔西館 3階〕 研究個室 1～3

※要申込、学内者のみ



一人で集中したい時に！
無線LANも使えます



〔西館 4階〕 個人学習室

図書館最上階で静かに
勉強できますよ♪



企画展示・イベント案内

第18回教科書展 中等音楽科教科書編

戦前・戦後の教科書と教育の歩みを紹介する教科書展。今年度は音楽の教科書や教材などを展示します。

開催期間：平成26年3月31日(月)～4月30日(水) 10:00～16:00

※土日祝を除く。ただし、4月12日(土)は開催

開催場所：附属図書館北館1階 企画展示室

入場無料。どなたでもご覧いただけます。

えほんのもりから

今月の読み聞かせ会は、
3月17日(月) 15:00～15:20です。

今月の絵本カード
はこちら！



※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。
このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

次回告知

第22回 うたとおはなしの会

「小鳥たちの鳴き声や優しい春風に、色とりどりのお花たちがうれしそうに揺れています。春はみんなを笑顔にしてくれる季節ですね。大学のキャンパスにも春がやってきました。うたとおはなしの会では、ゴールデンウィークを前に、季節を満喫できるうたやお話が盛り沢山です。大好評の人形劇は「赤ずきんちゃん」を上演予定！皆様のお越しを心よりお待ちしております。」

開催日時：平成26年4月26日(土) 11:00～12:00

開催場所：附属図書館北館2階 研修セミナー室1

対象：幼児(3～6歳頃)と保護者 ※0～2歳児も大歓迎！

申込方法：詳細は図書館ニュース4月号

またはホームページ等でお知らせします。

※無料です

図書館からのお知らせ

図書館のOPAC（蔵書検索システム）が新しくなりました

★検索結果が見やすい！

配置場所や貸出状況などが一目でわかります。

★検索結果の絞り込みが楽々！

分野や出版年など、クリック一つで絞り込めます。

★タブ切り替えでほかのデータベースも検索！

検索窓のタブを切り替えれば、同じ検索語で他大学資料や雑誌論文などが検索できます。

※キーワードを入力した後、1回以上検索が必要です。



【学内専用】 Web サービスのログイン方法が変わりました

OPACのWebサービスが、IPCのメールアドレスとパスワードでログインできるようになりました。これにより、カウンターでのパスワード登録が不要となります。

※以前登録したパスワードではログインできなくなりますのでご注意ください。

※IPCのメールアドレスを持っていない学内者の方は、従来通り図書館カウンターでお手続きください。

上記の方法でログインできない場合は図書館までお問い合わせください。

学生証のICカード化に伴う入館ゲート等の更新について

3月末より配布されるIC学生証に対応するため、入館ゲートおよび自動貸出機を更新します。それに伴い、現在の磁気カードは手動対応になりますので、カウンタースタッフにお声かけください。なお、教職員の図書館利用証については、磁気カードからバーコードカードへの交換を行う予定です。

卒業・修了予定の方へ（再掲）

1. 貸出期間の延長

卒業・修了予定の方の貸出は2014年3月10日(月)までとなっています。それ以降も貸出を希望される場合は、所定の手続きを行うことにより、2014年3月25日(火)まで延長できます。カウンターでお尋ねください。

2. 卒業後も図書館を利用される場合

卒業生利用者としてご利用いただけます。卒業後の利用案内および利用証の申請書は卒業式(修了式)で配布し、当日から利用証を発行できますので、ご希望の方はお申込みください。なお、卒業後は本学の学生と利用条件が一部異なりますのでご注意ください。

※2014年3月末に卒業・修了しない方で、貸出中の図書の返却期限日が3月10日(月)になっている方は、2014年4月11日(金)に変更されます。図書館への申出は不要です。

非常勤講師・非常勤職員の方へ

次年度も本学に在籍される方は、図書館利用証の更新手続きが必要です。

3月下旬より手続き開始の予定です。図書館カウンターにてお尋ねください。

春季休業に伴う長期貸出について(再掲)

院生・教職員は1月15日(水)～3月13日(木)、学部生は1月29日(水)～3月27日(木)の期間に借りた図書の返却期限日が、4月11日(金)になります。

※視聴覚資料を除く。

「柔道の受身及び投技習得を助ける教具の有効性の検証」

藪根 敏和・有山 篤利・藤野 貴之・中嶋 啓之

京都教育大学紀要. 2013, No.123, pp.17-29

柔道の学習では教材の中に投技を含むので、安全に留意して指導を展開する必要があります。また、実際に配当できる時間数は限られており、攻防の基礎となる動きづくりを効率よく進めていかねばなりません。そこで思いついたのが今回の教具です。この教具は投技と受身の学習を補助する目的で作成したもので、「投技マイスター」と命名し、平成 22 年度から本学の柔道と護身術の授業で本格的な使用を開始しました。学習者には好評で、私も実際に使用してその有効性を実感しているのですが、あくまでも主観であり、客観的にはこの教具の有効性を検証していませんでした。そこで、この教具が受身や投技の基礎的な動き作りを行うために本当に有効なのか、有効だとすれば、どのような部分が有効なのかを明らかにすることを目的として、本研究を行うことにしました。研究対象とした授業は、本学で平成 18、21、22 年度に実施した柔道講座と、平成 22 年度に実施した護身術講座でした。そして、これらのクラスを教具を使用した講座と使用しなかった講座に分類し、両グループの学習者の受身と投技の習得状況を比較しました。その結果、教具を使用した講座では、投技の導入動作が上達し、受身動作中の姿勢が良くなっていました。以上の結果から、作成した教具は、投げ動作に関しては導入動作の上達を促進する効果があり、受身動作に関しては学習者の恐怖心を和らげ、動作中の姿勢を良くする効果があることが明らかになり、その有効性が検証できました。

元々この教具は多くの人に使用してもらいたいという思いで作成したのですが、特許を取得した後、かなり高価な道具になってしまいました。手に入れるのは難しいかもしれませんが、作成に至った考え等は学生の皆さんの参考になるのではないかと思います。論文を一読いただければ幸いです。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 123 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/> にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)
 ■学内者のみ(9:00-17:00)

2014年3月							2014年4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
30	31						4/9	前期授業開始					

3/5 館内整理日

3/12 後期入試

- 京都教育大学附属図書館ホームページ
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>
- 携帯版図書館ホームページ
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>



QRコード↑

京教図書館 News No.162 (2014年3月号)
 発行日:平成 26年3月3日
 編集発行:京都教育大学附属図書館
 問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp